

【支援企業紹介】②



東和食品株式会社

技術と品質で勝負。

昆布を再び日本の食卓へ

第18回 機械要素技術展 出展のご案内 ④

平成26年度 中小企業外国出願支援事業 ⑤

平成26年度 第1回 ⑥

「新素材・加工産業化研究会」の開催について ⑥

MEDTEC JAPAN 2014 ⑥

いわて海外展開支援コンソーシアム ⑦

中堅管理者・後継者養成講座 ⑦

設備貸与制度のご案内 ⑧



東和食品の
これがポイント!

特許申請の独自の切削技術で、昆布のうまみを手軽に味わえる「花けずりこんぶ」と、枕崎産鰹節を合わせた「かつおこんぶ」シリーズ。和洋中どんな食事にかけても、昆布本来の濃厚な旨味が楽しめる。



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

7月 [JULY]

2日 三県合同商談会(東京都)

15日・16日 ものづくりアカデミー・管理者のための生産管理セミナー(盛岡市)

8月 [AUGUST]

26日~28日 ものづくりアカデミー・品質管理中級セミナー

9月 [SEPTEMBER]

10日・11日 ものづくりアカデミー・中堅管理者・後継者養成講座(1)
25日・26日 いわて特産品コンクール

技アリ!

いわての仕事録



- 1 辻見社長が図面を引き、試行錯誤の末に完成させた生産ライン。
- 2 原料倉庫では、熟成期間を経て削り昆布に加工される北海道産の高級昆布が保管されている。
- 3 選別された幅広で肉厚の昆布が製造ラインに投入される。
- 4 高速切削装置を経て、薄く削られた昆布の小片が勢いよく出てくる。
- 5 食感を損なう昆布のカケラをエアで丁寧に取り除く。
- 6 製品の品質を保持する窒素ガス置換自動包装機を導入。パッケージ工程の品質と生産性が格段に向上した。
- 7 工場内に検査室を設置。毎日、専任スタッフによる品質検査が行われている。
- 8 北海道産真昆布と枕崎産かつお節を使用したシリーズと、田老産昆布を使用した「さらさら」シリーズ。

技術と品質で勝負。昆布を再び日本の食卓へ

代表取締役社長
辻見重勝

【支援企業紹介】宮古市 東和食品株式会社

昆布を再び食卓に登場させたい 強い思いを胸に宮古市で起業

ふわりと軽く、透けるほど薄く削られた昆布の小片。口に入れた途端まろやかに融け、昆布の旨味が口いっぱいに広がった。出汁とは比べ物にならない濃厚で深い味わいに、「うまい!」思わず唸ってしまう。

「現代は食が洋風化し、昆布の持つ力が忘れ去られている。消費を復活させるためには使い勝手のいい加工品にすべきだという思いが、『花けずりこんぶ』開発の動機でした」。

商品への自負をにじませ語る、東和食品の辻見重勝社長。昆布をはじめ海産物事業に携わって半世紀という

プロである。そんな辻見社長が思いと加工技術の全てを注いだ「花けずりこんぶ」は、6年もの試行錯誤を経て量産化に成功したものである。

スタートは昭和59年。「昆布の削り節を作って食卓に常備し、手軽にふりかけて食べられるようにできたら、昆布の美味しさを多くの人に味わってもらえる」と考えた辻見社長は、素材のよさを損なわない「花けずりこんぶ」の開発を決意する。平成5年に取引先や友人の多い宮古市で起業、切削装置を試作し削り節状の昆布製品の試作に取り組んだ。その結果、ソフトな食感と美味しさを極めた製品づくりには高級昆布として定評のある真昆布が最適とわかるが、原料価格は高い。「いかに

和食の原点でありながら近年は需要が伸び悩む昆布。その現状に挑戦するのが宮古市にある東和食品だ。自社商品「花けずりこんぶ」開発のいきさつ、そして岩手への思いを辻見重勝社長が語った。

【いわて産業振興センターに期待すること】
自社ブランド「花けずりこんぶ」等のマーケティング事業実施のほか、専任コーディネーターによる販路開拓支援により首都圏をはじめとする新たな取引先の実現。

便利で美味しくても手頃な値段でなければ、『多くの人に手軽に食べてもらう』との目的を達成することはできません。辻見社長の挑戦は続いた。

アイデアを形にする試行錯誤 岩手の素材のよさも発信したい

同社の「花けずりこんぶ」最大の特徴は、昆布の表面に対し斜めに切削する独自技術で製造されていること。これにより昆布の繊維が切断され、アミノ酸などの旨味成分が引き出されやすくなる。「以前は90分かかっていた旨味の抽出がわずか90秒で済む」と辻見社長も胸を張る。

だが、厚さわずか1ミリの昆布を切削

する量産加工機などどこにもない。県や工業技術センターの指導を受けつつも「失敗を繰り返した」と辻見社長は振り返る。第1号の量産機は平成11年に完成し、13年には念願の自社ブランド「花けずりこんぶ」、翌14年には鰹節と混ぜた「かつおこんぶ」を発売、販路を拡大していった。

美味しい高級昆布を使用しつつ手頃な製品価格を実現することにもこだわり続けた。そのためには、高速化によって量産を実現し、加工に要するコストを大幅に圧縮するのが必須だったため平成19年から技術開発に取り組み、試行錯誤を経て同25年には高性能の量産機、第2世代の製造装置を完成させたのである。

平成23年に発売した「さらさらこんぶ」「さらさらかつおこんぶ」は、思いもひとしおの商品だ。田老産昆布を使用した本製品は、地元貢献を目指し3年をかけて開発した新商品。販売直前に東日本大震災が発生し原料供給が止まるも、4月には販売を開始した。だが辻見社長に、復興応援商品という意識はない。

「本品は、田老漁協や研究熱心な漁師が肉厚昆布を作ってくれた成果。被災者という同情票で売るのはなく品質そのもので勝負したかった。なにより漁獲量が回復して加工の量産化が進めば、これは高級昆布の産地北海道にもひけをとらない水産加工品になっていくと思います」。

より薄く柔らかく。切削機械の精度への挑戦

当社の製品は北海道産の最高品質の真昆布の中から特に肉厚なものを厳選。独自の切削技術の開発で薄く、食べやすくスライスしています。平成23年には新工場移転を機に製造ラインも刷新。最新の包装機を導入し、よりふんわりとした美味しさを実現しました。

技アリ!ポイント

企業データ

会社名 東和食品株式会社
本社 宮古市崎嶇ヶ崎第7地割15-6
電話 0193-63-5117
代表者 辻見重勝

創業 平成5年(1993)4月
従業員 10名
業種 海産物の加工販売・食品の販売
URL <http://hanakonbu.jp/>

第18回 機械要素技術展 出展のご案内

平成26年6月25日(水)～27日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で、「日本ものづくりワールド 第18回機械要素技術展(M-Tech)」が開催されます。

機械要素・機械材料(ベアリング、ねじ、ばね等)と加工技術(金属、樹脂)などの主要企業が一堂に集結する展示会です。

この展示会は、日本最大級の集客力を誇り、製造業の設計技術者、研究開発者、生産技術者、購買・資材担当者など、多数の来場者があります。

平成25年度は、1,930社が出展し、3日間でのべ76,701人の来場者があり、出展社と来場者の間で、活発に見積依頼や商談が行われました。

当センターでは、「岩手県共同出展ブース」を毎年出展しておりますが、今年度の出展企業を募集したところ、16社の企業が出展することとなりました(下記参照)。

「ものづくり」をテーマに、今年も本県企業をアピールしてまいります。メーカーのご担当者様、本県パビリオン以外にも岩手から多くの出展がありますので、皆さまのご来場をお待ちしております。

岩手県内の企業様、本案内をご覧になり、来年度の出展についてご関心をお持ちでしたら、是非、会場まで足をお運びいただき、「岩手県共同出展ブース」の活発な商談の様子を見学にいらしてください。

※出展企業の詳細内容については、同封の資料をご覧ください。

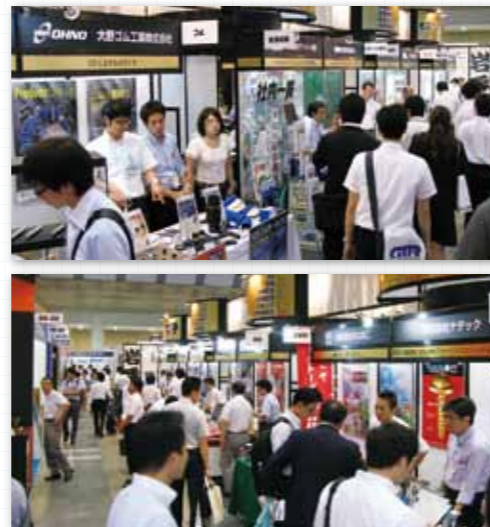
No.	出展社様名	キャッチコピー
1	(株)アイオー精密	400名のスペシャリストと700台の最新機械
2	岩手製鉄(株)	鋳造シミュレーション・鋳造品サンプル
3	(株)エイワ	特殊合金の少量生産は[Eiwa]におまかせください～溶解・鍛造・圧延までの一貫生産可能～
4	大野ゴム工業(株)	丸型防振ゴム
5	(株)共立精工	精密加工部品モデル
6	(株)小林精機	高精度切削加工部品
7	(有)サワ	ネジを「吸って」「はさんで」簡単締め付け
8	三共化成(株)	MID(三次元成形回路部品)
9	(有)ジーエフトップ	特注スブルーブッシュ
10	品川光学(株)	光学ガラスレンズ、単結晶レンズの研磨品
11	(有)青匠回路設計	プリント配線板パターン設計から製作・実装まで
12	(株)千田精密工業	FSW(摩擦攪拌接合)での真空部品加工
13	(株)ナテック	パーツフォーマー製品(冷間圧造)
14	(有)プロフィット	微細加工、難削加工、試作などの精密加工
15	盛岡セイコー工業(株)	高級メカ時計
16	和田工業(株)	精密プレス製品

開催日 **平成26年 6月25日(水)～27日(金)**
10:00～18:00(最終日は17:00まで)

開催場所 **東京ビッグサイト**
(東京国際展示場)

参考HP <http://www.mtech-tokyo.jp/>(機械要素技術展)
<http://www.bigsight.jp/>(東京ビッグサイト)

同時開催 **第25回設計・製造ソリューション展**
第5回医療機器開発・製造展(MEDIX メディックス)
第22回3D&バーチャルリアリティ展



平成
26年度

中小企業 外国出願支援事業

今こそ岩手の知財を
世界に広げましょう!

現在、国内の中小企業において自社の技術・商品を活用した海外戦略が急激に進んでおります。当センターではこのような知財のグローバル化を視野に入れている岩手県内の中小企業を対象として、特許権等、知的財産権の外国出願費用を支援する事業を実施します。

予算枠がなくなり次第、事業終了しますので、お早めにお申し込みくださるよう、お願い申し上げます。詳細につきましては担当にお電話いただくか、当センターWEBサイトをご覧ください。

対象権利

特許権、実用新案権、商標権(冒認対策商標含む)、意匠権
※冒認対策商標…いわゆる「抜け駆け対策」。商標が他者によって出願され、その国でのビジネスができなくなることを防ぐものです。

助成対象

外国特許庁への出願時に要した費用(翻訳費・外国出願料・外国代理人費用・手数料等)

- 国内出願費用、PCT出願費用、国内出願・PCT出願の弁理士費用は認められません。
※これらについては、中小企業向けの優遇措置が別途設けられています。
- 日本国特許庁に支払う料金(特許印紙含む)は対象外です(マドリッド協定議定書に基づく国際登録出願に要する費用など)。
- 弁理士費用における消費税相当額は対象となりません。
- 複数の国でも、外国出願に要する費用は対象となります。

補助金

対象費用の1/2の補助を行い、上限は特許150万円、実用新案・意匠・商標60万円まで(冒認対策商標は30万円まで)とします。

- 1企業が複数案件を申請することは可能です(特許+商標など複数制度も可)が、1企業に対する補助金の上限は300万円です。

条件

- 岩手県内で事業を営む中小企業(個人、組合含む)であること。申請時点で事業を実施していない個人は対象となりません。
- 当センターへの応募段階において日本国特許庁に特許出願(PCT出願を含む)していること。
- 日本国特許庁に国内出願(日本国特許庁への出願は、当該年度内である必要はありません)した者で、年度内に優先権を主張して(商標権をのぞく)外国特許庁に出願を行う者。
- 今年度内に外国への直接出願または指定国への国内段階移行が完了するもの。
- 外国への出願手続きが完了している(出願料金を納付済み)場合は対象となりません。
- 優先権を主張しないものは、日本国内出願による新規性喪失で拒絶されるおそれがあるので、対象となりません(商標権をのぞく)。

注意

- 審査会で採択された案件にのみ、助成します。
- 今年度からは「(採択後)経費の支払いを確認してから助成金を交付」しますので、領収書等は破棄せず、保管するようにして下さい。

[第1次公募締切]

6月30日(予定)

※枠がなくなった場合、受け付けを終了します。予算に余裕が発生した場合は、第2次公募を行います。

[最近3ヶ年の実績]

H23年 特許2社・商標1社
H24年 特許4社・商標4社
H25年 特許2社・意匠1社

お問い合わせ・お申し込みは
産業支援グループ TEL 019-631-3823 FAX 019-631-3830 <http://www.joho-iwate.or.jp/fipr/>

平成26年度 第1回 「新素材・加工産業化研究会」の開催について

当センターでは、岩手県の企業、研究機関、支援機関等が一体となって、特殊合金等の新素材の製造とその加工産業集積による産業クラスターの活性化を進めることを目的とし、昨年10月に「新素材技術研究会」を設立致しました。

今般、素材・機械加工業界の動向や、新素材の加工を基に異業種展開を行った企業の実例紹介、最新の加工技術の紹介をする第1回「新素材・加工産業化研究会」を下記の通り開催致します。

ご多忙の折とは存じますが、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

開催日	平成26年7月18日(金) 14:30~19:00
会場	ホテルメトロポリタンNEWWING 4階メトロポリタンホール南の間
講演	<p>テーマ1:「難削、超精密切削の現状と今後の動向(仮)」 株式会社松岡技術研究所 代表取締役 松岡 甫 様</p> <p>テーマ2:「(調整中)異分野から新素材・加工産業へ参入した企業の実例紹介を予定)」 (講師 調整中)</p> <p>テーマ3:「さまざまな難削材の加工事例、加工方法のご紹介 —難削材といっても色々あります。変わった視点からご紹介します。—」 株式会社牧野フライス製作所 加工技術本部 セネラルマネージャ 金谷 潤 様</p>
対象者	特殊合金や難削材加工に関心を持つ企業関係者、大学の研究者等
主催	公益財団法人いわて産業振興センター
共催	岩手県新素材・加工産業集積促進協議会

※講演終了後、
交流会を予定
しております
(会費4,000円)

申込先 公益財団法人いわて産業振興センター ものづくり振興グループ「新素材・加工産業化研究会」事務局(担当:鈴木、嶋)
TEL:019-631-3825 FAX:019-631-3830

MEDTEC JAPAN 2014に出展しました

4月9日(水)から4月11日(金)までの3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において医療機器展示会「MEDTEC Japan 2014」(主催:UBM Canon Japan 合同会社)が開催され、本県から医療機器事業化研究会会員企業6社が、岩手県共同出展ブースとして出展しました。

本展示会は医療機器の設計・製造に特化した専門展示会であり、世界から約430社のサプライヤーが集結する国内医療業界の一大イベントです。

昨年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、健康・医療関連産業の発展に向けた政策を積極的に推進していく方向性が示されたこともあり、本展示会への出展希望企業が大幅に増えたことから、開催期間を3日間(従来は2日間)に拡大し開催されました。

岩手県共同出展ブースは、医療機器メーカー等のお客様に、出展企業の優れた技術を見ていただき、「技術の輝く医療機器」に結びつけていただくこと。また、県内ものづくり企業が、医療機器メーカーが行う改善や改良、開発のプロセスの中に、参画できるチャンスを見だし貢献をしていくこと。これにより、県内企業が医療機器に係るビジネスを獲得し、成長と発展を目指すこと、を目的として出展しました。

本展示会には、第1回目から出展しており、今年で6回目の出展になります。主な来場者は、メーカー等の設計技術者、研究開発者、生産技術者、購買・資材担当者等であり、県内出展業者との間で名刺交換、見積依頼、具体的商談が活発に行われました。

そして、出展した多くの企業が、「見積りの依頼がある」、「打合せのため後日訪問の約束を取り交わした」等の成果を上げるなど、「いわて発」の医療機器技術を全国の関係者に向けアピールでき、意義のある出展になりました。

今後も当センターでは、本県の医療機器産業の創出に向けて努力してまいります。



【出展メーカー】

- 1 株式会社アイカムス・ラボ 精密機械器具製造業
- 2 株式会社キンレイ 擦り線機メーカー
- 3 品川光学株式会社 レンズ加工業
- 4 株式会社新興製作所 医療機器メーカー
- 5 株式会社東亜電化 表面処理業
- 6 有限会社プロフィット 金属加工業

WEBサイトはこちら

<http://www.medtecjapan.com/ja>

開催期間の来場者 28,137名(3日間) ※H25:13,210名(2日間)

～中小企業の皆様の海外展開を支援します!～

いわて海外展開支援コンソーシアム

本コンソーシアムは、海外展開を支援する県内関係機関が、連携して企業支援を進めるためのプラットフォーム組織です。関係機関が丸となって、皆様の海外展開へのチャレンジを支援します!

支援内容	<p>情報提供 HPやメール、コンソーシアム構成機関など通じて、企業様への一元的な情報提供 ■セミナー、商談会等情報の提供 ■関係機関の支援制度情報の提供 など</p> <p>企業支援 海外展開グループ・プロジェクト支援事業(下記参照)</p> <p>連携企画 コンソーシアムの連携企画事業による支援(海外展開に係る各種フォーラム、セミナーの開催ほか)</p>	<p>いわて海外展開支援コンソーシアム(体制)</p> <p>【構成員】</p> <p>海外展開チャレンジを連携・一体支援</p> <p>運営会議(企画/運営)</p> <p>岩手県... ジェトロ盛岡</p> <p>市町村、その他関係機関と連携</p> <p>いわて産業振興センター 岩手県産(株) 岩手県中小企業団体中央会</p> <p>岩手県商工会連合会 岩手県商工会議所連合会</p> <p>(株)岩手銀行 (株)北日本銀行 (株)東北銀行</p> <p>【オブザーバ】 東北経済産業局 三井住友海上火災保険(株)</p>
------	--	---

海外展開グループ・プロジェクト支援事業

複数の企業が共同で行う、海外展開に向けた取組みを支援します。

対象	海外展開を目指す複数(2者以上)の企業等によるグループ(プロジェクト)
支援内容	(1) コンソーシアム運営会議(県及びジェトロ盛岡)が、支援グループのプロジェクト内容に応じ、コンソーシアム構成機関や国等の支援施策をコーディネート。制度導入やプロジェクト実施を支援します。 (2) プロジェクト(グループ)の「PDCA」各段階に応じ、全体(一貫)支援します。
具体例	「〇〇商談会参加」「タイ市場進出」「部品加工関連企業」などのプロジェクト(企業グループ)に対して、P=計画 市場調査等 D=実施 商談会支援、人材育成等 C=分析 専門家派遣等 A=再展開 再商談等を支援
期間	原則1年程度(プロジェクト内容に応じて、延長支援します。)

お問い合わせ (事務局) 岩手県 商工労働観光部 産業経済交流課 海外マーケット担当
TEL:019-629-5538 FAX:019-623-2510 E-mail:AE0003@pref.iwate.jp

いわて海外展開支援コンソーシアム

いわてものづくりアカデミー 参加者募集中 中堅管理者・後継者養成講座

企業が繁栄・持続していくためには、将来にトップを支えることとなる中堅管理者と後継者の養成が不可欠の条件となります。この講座では、管理者・後継者に要求されるテーマを「経営理念」、「計数の理解」、「リーダーシップ」の3つに絞り、実習と体験学習を主体に体系的に指導します。

- 対象 中小企業の中堅管理者・管理者候補、後継者等
- 定員 20名程度
- 開催日・会場(それぞれ1泊2日)
第1講...9/10(水)、9/11(木) 金ケ崎町/みどりの郷
第2講...10/8(水)、10/9(木) 栗石町/ゆこたんの森
第3講...11/12(水)、11/13(木) 八幡平市/いこいの村岩手
- 受講料 1名につき50,000円(賛助会員は40,000円)
※支払:研修終了後に納入通知書を送付。
- 宿泊料 1講につき10,000円
※会場に現金でお持ちください。
- 持参品 筆記用具、計算機、宿泊用具
- 交流会 第3講初日に開催予定(希望者のみ) ※参加費等は別途案内します。
- その他 ○全研修時間の3分の2以上の出席者に修了証書を交付します。
○服装は自由です。
○食事は4回(昼/夜/朝/昼)出ます。費用は宿泊費に含まれています。
○昼食・夕食の休憩を1時間とります。
- 講師 (株)MELソリューション 代表取締役会長 安田 芳樹(第1・3講)
(株)MELコンサルティング 代表取締役社長 渡辺 晴樹(第2講)
- 日程・研修内容 <http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu/26tyuukun.html>

【エム・イー・エル】 (MELソリューション、MELコンサルティング)

「経営戦略」を基軸に、コンサルティング、企業研修、経営診断、経営計画策定、人事システムの構築を主たる業務としています。
岩手県内でも企業指導のほか、当センターの各種セミナーを担当し、特に「中小企業経営者大学」では、昭和49年度から平成16年度までの間に1,600名を超す経営者・後継者を指導しました。

このほかの
ラインナップ
経営者・管理者のための原価低減セミナー
管理者のための生産管理セミナー
品質管理中級セミナー
ISO9001内部監査員養成講座

詳しい内容はホームページをご覧ください。お申し込みもできます。
<http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu/>

※当センターの賛助会員の皆さまは、各コースの受講料が2割引になります。

設備貸与制度のご案内

長期

5年～10年

低利

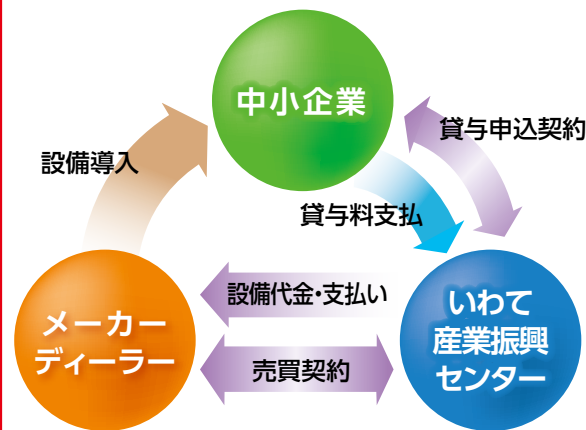
年1.65%

無担保

金融機関の借入枠とは別枠です

制度のしくみ

「設備貸与制度」は、中小企業の皆様が機械・設備を導入するときに、センターがそれを商社・メーカーから直接購入して、低利で割賦販売またはリースをする、公的制度です。



以下のいずれか1つの条件を満たせば、

最長10年、1億円まで貸付可能です。(リースは除く)

- (1) 経営革新計画の承認企業
- (2) 異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
- (3) ISO9000/ISO14000の認証取得企業
- (4) 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- (5) 県内企業5社以上へ下請発注している企業
- (6) 県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
- (7) 申請する設備を設置することで(4)～(6)に該当する企業でも可

東日本大震災で設備または事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

**最長10年、措置期間2年
利息1.55%で貸付可能です。**

※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)
貸付期間	原則5年または7年	原則5年または7年
貸付限度額(消費税含む)	100万円～8,000万円	100万円～8,000万円
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(車輛を除く)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)	—
利息(貸与損料)リース料	年1.65%	5年=1.822% 7年=1.346%
連帯保証人	法人:代表者1名、個人事業主:なし	

お問い合わせ

総務・金融グループ

☎019-631-3821 FAX019-631-3830
http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi

(公財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2014年6月10日(毎月10日発行)

発行/公益財団法人 いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823 FAX.019(631)3830

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL http://www.joho-iwate.or.jp/

編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。